

診察室・処置室の環境清掃

診察室・処置室の環境清掃は

頻繁に手で触れる場所を意識して清掃を行いましょう

【人の手が多く触れる場所には病原菌が潜んでいる可能性があります】

○で囲っているところはスタッフや患者・利用者の手が触れる場所です
1日1回以上環境清拭クロス等で清掃を行いましょう

ドアの取っ手

机、椅子

キーボード、マウス

体温計、パルスオキシメーター等の患者に直接使用し共有される物品は感染の原因となる。使用毎に清拭を行う。

手指消毒剤を設置して患者毎に手指消毒を行う。

直ぐに个人防护具が使用できるように準備をして、標準予防策が実施できる環境を整える。

診察台や処置台も使用毎に清拭を行う。
診察台にタオルを敷く場合は、患者毎にタオルを交換する。

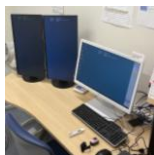
手を触れる頻度が少ない場所の清掃 【床、壁、窓やブラインドなど】

定期的にもしくは、汚染時に清掃しましょう。



手を触れない場所の清掃 【PCの画面や裏、棚の上や空調の排気口など】

埃の塊には病原体が潜んでいる可能性があります。埃を巻き上げないように掃除機や清掃用ドライシートなどで清掃を行いましょう。



環境清拭クロスについて

・ アルコール含有タイプ

アルコール濃度80%含有している製品が多いです。テーブル・ドアノブ・ベットまわりなどの洗浄・除菌や汚染物の付着した箇所の洗浄・除菌に使用できます。プラスチック類、革製品、ニス・ラッカー塗りの物は溶かしたり光沢を消す可能性があります。

・ ノンアルコールタイプ

EPA認定の第四級アンモニウム塩を含有しているものがよいです。材質への影響が少なく環境中の清掃に適しています。また、揮発性が低く1枚で広範囲を清掃できます。

・ 次亜塩素酸ナトリウムタイプ

環境表面を強力に除菌・洗浄します。アルコールに耐性のある細菌・ウイルスに効果があります。プラスチックや木、ステンレスに使用できますが、金属への腐食性があります。

既製品を用意できない場合はスプレーボトルに消毒液を入れて使用する方法があります。注意点として、環境に消毒液を噴霧すると人体に有害となる場合があります。不織布に消毒液をスプレーし清拭清掃をしましょう。環境清掃を行う際は防護具を使用し、最後に手指衛生を行いましょう。